

企画展示室 ー多様な埼玉の生きものー

碓 井 徹

亜高山帯から低湿地まで、埼玉県の自然環境はじつに多様性に富んでいます。

この『多様な埼玉の生きもの』というテーマの展示は、年3回ほど企画的なテーマで開催される企画展の間に行う常設展的な位置づけです。

毎回少しずつ展示資料を入れ替えながら、県内の多様な環境に息づく動植物を、多彩な切り口で紹介しています。

すでに埼玉県からは絶滅してしまった動物の剥製や非常に精緻に再現された希少植物のレプリカ、外来動植物の標本や生態写真などが6つの展示ケースいっぱいに展示されています。また、およそ1,000個体ほどの昆虫も40箱を超える標本箱に整理されて展示されています。

5月14日から7月4日まで開催されている今回の『多様な埼玉の生きもの』の中から、テーマごとの見所をいくつかご紹介いたします。

[後世に残したい動物]

ニホンヤマネ（剥製）国の天然記念物
オオヨシゴイ（剥製）埼玉県ではすでに絶滅したとされるサギ科の野鳥です。この剥製は、50年ほど前に県内で採集された個体です。

[後世に残したい植物（石灰岩地）]

チチブイワザクラ・チチブリンドウ・ホテイラン・ミヤマスカシユリ・キバナコウリンカ（いずれもレプリカ）

[埼玉のワシタカ類]

クマタカ・オオタカ・ノスリ・トビ・ハイタカ・ツミ・ハヤブサ（いずれも剥製）

[多様性を脅かす外来の生きもの]

ハクビシン・アライグマ・ドバト・ガビチョウ・ソウシチョウ・ブルーギル・オオクチバス・ミシシッピーアカミミガメ・ウシガエル（いずれも剥製）

アレチウリ・オオハンゴンソウ・オオフサモ（押し葉標本）



写真1 後世に残したい動物



写真2 埼玉のワシタカ類



写真3 展示会場の全景

(うすい とおる・担当課長)